

2015年7月創刊、月に70万ページ読まれている「地域インターネット新聞」のダイジェスト版です

ネットで注目の話題

<http://hiyosi.net>

## 「相鉄直通線」6年先に開業延期、地域で悲喜分かれる



2019年春の開業予定としていた「相鉄・東急直通線」(神奈川東部方面線=日吉~新綱島~新横浜~羽沢、約10キロ)の開業は当初から3年半以上遅れ、**2022年10月以降**になる見通しだと鉄道・運輸機構が発表しました。

理由として、地下に新設される**新綱島駅周辺の地盤が想定よりも悪かったこと**や、住宅地の真下をトンネルが通ることになる大倉山地区などで用地交渉が難航した点をあげています。

現在、箕輪町3丁目から新綱島駅までを掘り進む綱島トンネルをはじめ多くの地下区間で建設が遅れ気味。全線の用地取得率が約8割に達したとはいえ、予断を許さない状況は変わりません。

日吉では、開通後に激減する東急目黒線の始発列車が当面残ることに安堵する声もありますが、新駅とともにまちづくりを進めている綱島駅東口では、28階建てのタワーマンションや「港北区民文化センター(芸術ホール)」、バスターミナルなどの完成時期が見通せなくなりました。箕輪町2丁目の旧アピタ跡地ほかを使った1320戸の大規模開発など、マンション建設が相次ぐ綱島街道の周辺エリアに与える影響も気になります。

一方、2019年のラグビーW杯や2020年の東京五輪にも間に合わなくなったことから、**新横浜駅の周辺**では期間中の工事規制解除も検討されています。箕輪町や綱島東など、沿線各所では**工事に耐えなければならない期間が延びてしまったのは残念**なところ です。

## 地域のニュース

### ● 旧アピタ跡は3000人超が住むマンション群

旧アピタ日吉店など3つの跡地は、野村不動産が最大20階建てのマンション(1320戸)ほか、小型スーパーや広場などを整備。2021年3月までに3000人以上の新たな街が生まれる予定です。

### ● 日吉台西中近くの「森戸原」で住環境を守る

日吉台西中学校(日吉本町5)の校歌にも歌われる「森戸原(もりどがはら)」。周辺では、開発に関する自主ルールを設け、40年近くにわたり良好な住環境を守り続けています。その歴史を建築協定運営委員会で委員長をつとめる浅場隆一さんに聞きました。インターネット版にインタビューを掲載しています。



森戸原建築協定運営委員長の浅場さん

### ● 新アピタは来年9月、フードコートなども

綱島東4丁目のパナソニック工場跡地(綱島SST)に建設中の「アピタ横浜綱島店」は、アピタ直営店だけでなく、50店規模の外部テナントのほか、フードコートや子供の遊び場も設けられる見通し。現時点では来年9月のオープンが予定されています。

## 防犯 街の安全

### 不安感じた電線の事故



電線を切断されたことで綱島街道は通行止めに

8月24日に綱島東2丁目の綱島街道でダンプカーが誤って荷台を上げたまま走行し、付近の電線を切断する事故が起きました。綱島街道は2時間以上にわたり通行止めとなり、路線バスに影響が出たほか、付近住宅ではインターネットに繋がらない被害も。今後、大きな地震発生が予想されるなかで、電柱や電線が壊れた際に起こる影響が心配になりました。

## ひ 発行者からお知らせ

昨年7月に始まった日吉や綱島の地域インターネット新聞。1カ月間で70万ページ以上が読まれようになりました。9月からは日吉・綱島・高田の求人情報をワンクリックで探せる機能「近所ではたらく」も追加しています。パソコンやスマートフォンで「日吉新聞」または「日吉」などで検索し、ぜひインターネット上でご覧ください。

【裏面もご覧ください】

行政書士・海事代理士 加賀雅典法務事務所

<http://hiyosi.net>

## 日吉在住22年、行政書士・加賀さんが築いた地域との信頼

「初めて一人暮らしを始めた日吉が気に入らずと離れられなかった」と話すのは日吉本町5丁目「行政書士・海事代理士 加賀雅典法務事務所」を営む加賀雅典(かが まさのり)さん。日吉に在住し、22年。周辺地域に根差した仕事ぶりが高く評価され、2012年には、横浜市港北区社会福祉協議会から「社会福祉功労者表彰」も受賞。地域のボランティア活動を精力的に行うなど、“日吉の顔”として広く知られています。



地下鉄グリーンライン日吉本町駅から徒歩5分。高田や綱島も近い  
(写真: 同事務所提供)

### ● 慶大時代から住み続ける街で開業

愛知県出身の加賀さんは、慶應義塾大学入学時から日吉へ。第一印象は「とてもきれいな街」。大学卒業後、弁護士事務所で勤務しながら、行政書士試験に合格し、慣れ親しんだ日吉に事務所を開業します。以降、第一に目指しているのが“街の頼れる存在”であることだといいます。



代表の加賀雅典さんは、行政書士のほか、海・船舶の法律のスペシャリスト「海事代理士」としても活躍。趣味は中学時代から続けるコントラバス演奏

地域に根差した「行政書士」として活躍中の加賀さんには、人生の様々なシーン、相続・遺言、贈与、成年後見、財産管理、見守り契約、死後の事務、起業や各種事業、離婚問題、契約書作成、外国人ビザなど、多岐にわたる分野での相談・依頼が可能です。対象も、事業所・法人、個人、外国人、自動車まで幅広く取り扱っています。

「だからこそ、“地域や顧客との信頼関係”が最も重要となってきます。地元の行政書士として、これまでのすべての経験を活かすことが、うれしくてならないんです」。

### ● 月2回の無料相談会、気軽に相談を

加賀さんは、毎月2回、日吉本町東町会会館(日吉本町1丁目・日吉駅から徒歩5分)にて、「無料法務相談会」を開催しています。「まずは気軽にお話いただきたいとの思いから、ご予約は不要です。普段のお悩みをぜひお聞かせください」。所属する一般社団法人コスモス成年後見サポートセンター(神奈川県支部・横浜東地区)でも、毎月1回、無料で巡回相談会を実施。詳細は、港北区担当の加賀さんまでお問合せください。

### ● 元気なうちの「任意後見」が増加

加賀さんの豊富な業務歴と地域で培った信頼感を垣間見せるのが、「成年後見(せいねんこうけん)」の依頼が多いこと。認知症・知的障がい・精神障がいなどによって、判断能力が不十分な方々の権利を保護するための制度で、契約ができる判断能力がない場合には「法定後見」、判断能力がある場合には「任意後見」を利用することができます。



超高齢化社会を反映してか、元気なうちに将来に向けての契約を結ぶ「任意後見」の相談が特に増加中。「考える余裕がある時」に詳細を決め、もし自分では判断がつかないような状態になったときに、事前に決めておいた契約内容に基づき、財産管理から死後事務に至るまでの手続を受任者が代理で行うというしくみです。

「今後の見通しや計画を立て、人生の最終局面までの“ライフプラン”を一緒につくりあげていきましょう。困った時は、ぜひご相談ください。地域の皆さんのため、これからも全力で対応します」と、加賀さんは意気込みます。

### ● 行政書士・海事代理士 加賀雅典法務事務所

日吉本町5丁目67番11-1号(地下鉄日吉本町駅・徒歩5分)  
電話: 045-564-9103 執務時間: 平日10:00~18:00  
ホームページ: <http://office-kaga.com/>  
E-mail: [info@office-kaga.com](mailto:info@office-kaga.com)  
※ 休日、夜間出張訪問対応可(ご予約制)



横浜日吉新聞のツイッター(@hiyosi\_net)は4,000人のフォロワー、フェイスブックは「いいね!」が1,300を超えました

